

(5) 日本がとるべき戦略とは？

世界経済情勢を踏まえて、日本がとるべき戦略とは

① **グローバル・インバランス**(米国の過剰輸入／アジアの過剰輸出)の是正のため、米国の消費市場への依存をやめ、**日本が輸入を増やすこと自体は、正しい。**

② ただし、日本の輸入拡大は、

積極財政□ 内需拡大□ デフレ脱却・国民所得上昇・経済成長□ 輸入拡大
の経路を目指すべき。

日米win-winとなり、世界経済の安定化にも寄与。**円高も有利に作用。**
輸出依存度が高く、不況で輸出先を失って苦しむ環太平洋諸国は、日本への輸出によって救われる(日本を中心とした真の環太平洋経済連携の成立)

<APEC等で表明すべきは、この戦略だった……>

③ しかし、TPPによる農業市場・労働市場・建設市場等の開放は、**安価な製品・労働力の流入□ 物価下落・実質賃金抑制□ デフレ不況悪化**

という**最悪の帰結**を招く。日本のデフレ不況が悪化すれば、輸入は増えず、結局、グローバル・インバランスは是正できない(=世界中が不幸になる)。

④ 輸出主導戦略もまた、**実質賃金抑制□ デフレ不況悪化**を招く。
それ以前に、**TPPでは、輸出は増えない。**

デフレによる 「経済力衰退」のメカニズム

デフレは...

需要<供給の状態によってもたらされる

物価の下落
(貨幣価値の上昇)

民間企業は投資を抑制
(負債返済を優先)

需要のさらなる
縮小

物価の
さらなる下落

民間の力だけでは投資は増えない

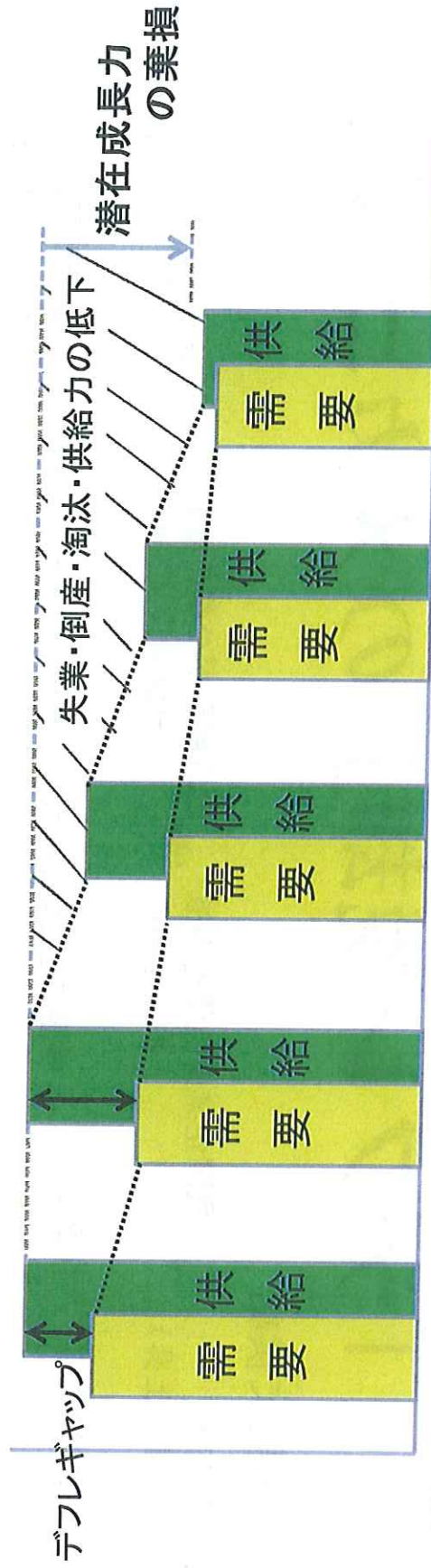


それにより

失業・倒産・供給力削減

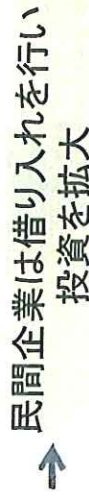
潜在成長力の低下

長期的な国力の衰退



「デフレ脱却」のメカニズム

需要 < 供給



財政再建はこの段階になってから(出口戦略)

これにより...

雇用維持・供給力の維持

潜在成長力の維持

長期的な国力の維持

